

脱炭素への貢献と高い成長性

<モビリティ・イノベーション・ファンド>

平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。当資料では、モビリティ・イノベーション・ファンド（以下、当ファンドといいます。）の実質的な運用を担当する、ニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシーのポートフォリオ・マネジャーからのコメントを基に、脱炭素への貢献と高い成長性を兼ね備えるモビリティ・イノベーションについてご紹介させていただきます。

脱炭素の中でもモビリティ分野は 早期に貢献が見込まれる高成長分野



※画像はイメージ



当ファンドのリード・ポートフォリオ・マネジャー
ロバート・ツォイテン

脱炭素が注目を浴びる中、EV（電気自動車）を中心とするモビリティ分野への期待が特に高まっています。その背景には、**モビリティ分野は脱炭素に貢献する分野の中でも相対的に早期の貢献が見込まれる成長分野であると考えられている点**があります。

脱炭素への貢献手段を大きく分けると、①発電段階における再生可能エネルギーの普及拡大、②消費段階での脱炭素化（省エネやエネルギーの転換）の2つに分けられます。①については、風力発電や太陽光発電などが含まれますが、こうしたインフラ系プロジェクトは性質上、政治情勢等に左右されやすいことから、実際の稼働までに長い時間を要する傾向があります。②については、工場や建物においては大規模な設備投資を要することなどから、脱炭素化の実現までに多くの時間を要します。一方で、**モビリティ分野においては、1台でもガソリン車がEVに置き換えれば、脱炭素化へ着実に貢献するため、より早期に影響を及ぼすと考えられます。**

以上の点から、**様々な選択肢がある脱炭素というテーマの中でも、モビリティ分野は早い段階での成長が期待される分野**といえます。更に、**EVを取り巻く環境は、航続距離の伸長や電池の低コスト化などが急速に進んでおり、そのダイナミックな変化の中で多くの投資機会が期待されます。**また、我々は乗用車のみに投資機会を見ているわけではなく、商業トラックやバス、バイク、航空機といった幅広いモビリティ手段の電動化における投資機会も捉えます。また、こうしたモビリティ分野の電動化が進む中で、同時に普及が見込まれる自動運転や車のIT化、シェアリングなどの分野においても、将来のリーダー企業となる可能性を秘めた成長企業などを厳選して組み入れを行います。

出所：ニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシーのコメントを基にBNY Mellon・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてBNY Mellon・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●当ファンドは、主に株式等値動きのある証券（外貨建証券は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に、投資する外国の株式の価格変動は、為替の変動を含めて大きくなる場合がありますので、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、運用実績は市場環境等により変動し、元金を割り込むことがあります。●当ファンドの運用により生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。ファンドは投資元本が保証されているものではありません。●当ファンドの投資リスクについては投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

設定・運用は



BNY Mellon・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第406号

[加入協会] 一般社団法人 投資信託協会／一般社団法人 日本投資顧問業協会／一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

脱炭素への貢献と高い成長性 <モビリティ・イノベーション・ファンド>

注目する組入銘柄のご紹介

こうした環境下、当ファンドではモビリティ分野において脱炭素に貢献しつつ、成長性も兼ね備える銘柄などを厳選して組み入れています。当資料ではその一部の銘柄についてご紹介いたします。

MPマテリアルズ

国：米国

保有比率：1.7%（2021年8月末時点）

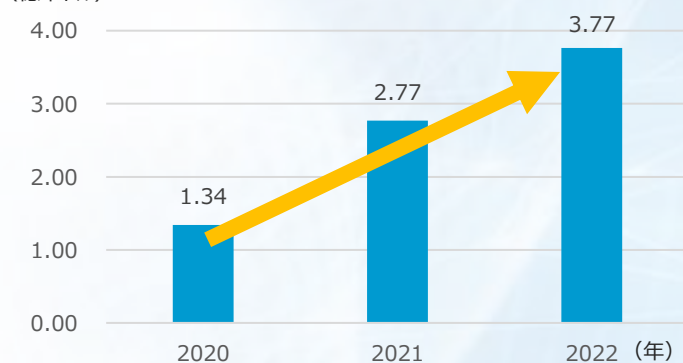
EV製造に欠かせないレアアースを米国で産出

米国のレアアース鉱山会社で、EVなどの製造に欠かせないレアアースを提供しています。世界のレアアースの大部分は中国で産出されていますが、同国は国外への輸出制限を検討していることなどから、同社は貴重な米国のサプライヤーとして注目されています。

レアアースはEV向けのみならず、クリーンエネルギーや国防などにも使用されていることから、同社の長期的なファンダメンタルズを前向きに捉えています。

同社の売上高推移

（2020年～2022年、2021年以降は2021年8月末時点の市場予想）
（億米ドル）



シャオペン・モーターズ

国：中国

保有比率：1.3%（2021年8月末時点）

伸びしろが期待される中国の新興EVメーカー

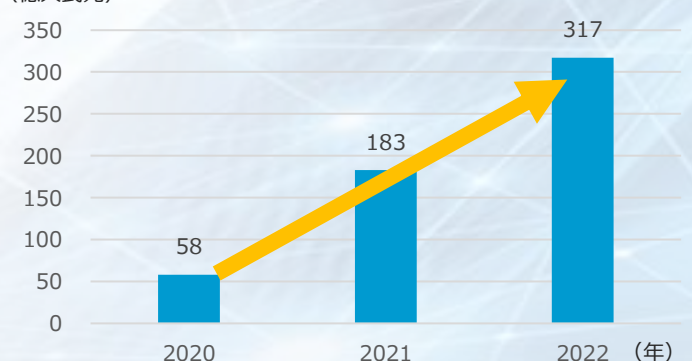
中国の新興EVメーカーで、Xpilotとして知られる自社開発の自動運転ソフトウェアなどは高い技術を持つことで知られています。

中国におけるEV市場の競争は激しいものの、販売台数の大きな伸びが予想されており、新車投入や事業拡大を通じて2024年には黒字転換できるようになると考えます。

現在、2種のモデルが販売されていますが、第3のモデルが年内に発売予定です。2022年には大型で高価なSUVを発売する予定です。

同社の売上高推移

（2020年～2022年、2021年以降は2021年8月末時点の市場予想）
（億人民元）



出所：ニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシーのコメント、ブルームバーグのデータを基に、BNY Mellon・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成
※上記は銘柄を推奨するものではありません。また、今後の組入を保証するものではありません。

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてBNY Mellon・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●当ファンドは、主に株式等値動きのある証券（外貨建証券は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に、投資する外国の株式の価格変動は、為替の変動を含めて大きくなる場合がありますので、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、運用実績は市場環境等により変動し、元金を割り込むことがあります。●当ファンドの運用により生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。ファンドは投資元本が保証されているものではありません。●当ファンドの投資リスクについては投資信託説明書（交付目録見書）の「投資リスク」をご覧ください。

設定・運用は



BNY Mellon・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第406号

[加入協会] 一般社団法人 投資信託協会／一般社団法人 日本投資顧問業協会／一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

脱炭素への貢献と高い成長性 <モビリティ・イノベーション・ファンド>

注目する組入銘柄のご紹介(続き)

ウーシー・リード・インテリジェント

国：中国

保有比率：1.3%（2021年8月末時点）

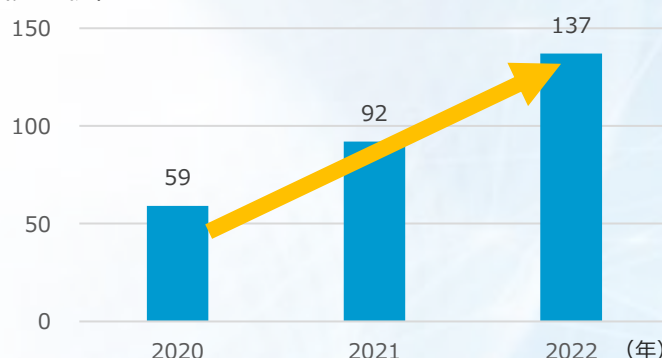
バッテリーの製造装置ソリューションを提供

中国のリチウムイオン電池・太陽電池向けの製造装置企業で、CATLやBYD、LG化学、サムスンSDI、パナソニックなどの主要なバッテリーメーカーに対し、製造装置などを提供しています。CATLとBYDが売上高の約9割を占めますが、最近では他社からの受注も増えており、CATLやBYDへの売上集中は今後改善されるとみています。

同社は売上高の約1割を研究開発費に充てるとともに、全社員の約3割にあたる約2,000人の研究開発エンジニアを擁するなど、競合他社と比べても研究開発に注力していると判断しています。

同社の売上高推移

（2020年～2022年、2021年以降は2021年8月末時点の市場予想）
（億人民元）



アルフェン・ベイヤー

国：オランダ

保有比率：1.7%（2021年8月末時点）

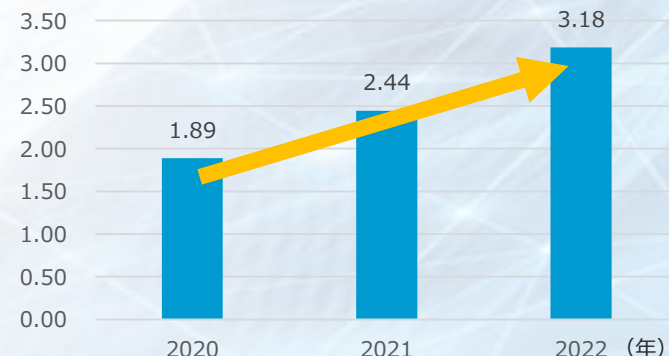
EV充電や新エネルギーの発電・貯蔵サービス

オランダのエネルギー会社で、スマートグリッド（次世代送電網）、エネルギー貯蔵、EV充電の3つの事業を手掛けており、エネルギー転換の加速を背景に力強い成長が期待されます。

同社の売上高の約6割を占めるスマートグリッド事業は、風力および太陽光発電の普及に伴い、一層の成長が見込まれます。エネルギー貯蔵事業は、将来の持続可能なエネルギーシステムに不可欠な要素です。EV充電事業は、家庭用および公共向けにEV充電サービスを提供しています。

同社の売上高推移

（2020年～2022年、2021年以降は2021年8月末時点の市場予想）
（億ユーロ）



出所：ニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシーのコメント、ブルームバーグのデータを基に、BNY Mellon・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成
※上記は銘柄を推奨するものではありません。また、今後の組入を保証するものではありません。

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてBNY Mellon・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●当ファンドは、主に株式等値動きのある証券（外貨建証券は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に、投資する外国の株式の価格変動は、為替の変動を含めて大きくなる場合がありますので、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、運用実績は市場環境等により変動し、元金を割り込むことがあります。●当ファンドの運用により生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。ファンドは投資元本が保証されているものではありません。●当ファンドの投資リスクについては投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

設定・運用は



BNY Mellon・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第406号

[加入協会] 一般社団法人 投資信託協会／一般社団法人 日本投資顧問業協会／一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

脱炭素への貢献と高い成長性 <モビリティ・イノベーション・ファンド>

注目する組入銘柄のご紹介(続き)

ジーリー・オートモービル

国：中国

保有比率：1.7%（2021年8月末時点）

モビリティにおける幅広い分野で高成長中

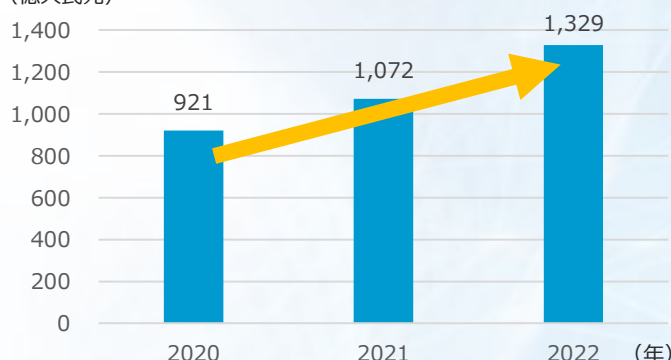
中国の自動車メーカーで、EVや自動運転車、配車サービスなどを手掛けています。

同社はこの10年間、スウェーデンのボルボ・カー・コーポレーションと協働してきました。この協働を通じて、エンジニアリング、テクノロジー、品質、デザイン、コストなどの幅広い分野で成長を遂げています。

同社は、新たなEVブランドZeekerにも活用されている新しいEVプラットフォームによって様々な価格帯の車両開発を進めるほか、内燃エンジン車のハイブリッド車への移行も進めていく予定です。

同社の売上高推移

（2020年～2022年、2021年以降は2021年8月末時点の市場予想）
（億人民元）



足下のパフォーマンスについて

設定来の当ファンドおよび世界株式指数の推移

（2018年1月22日～2021年8月31日）



※上記は銘柄を推奨するものではありません。また、今後の組入を保証するものではありません。

※世界株式：MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込、円ベース）

※当ファンドのパフォーマンスは税引前、信託報酬控除後です。

出所：ブルームバーグのデータ、ニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシーのコメントを基に、BNY Mellon・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてBNY Mellon・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●当ファンドは、主に株式等値動きのある証券（外貨建証券は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に、投資する外国の株式の価格変動は、為替の変動を含めて大きくなる場合がありますので、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、運用実績は市場環境等により変動し、元金を割り込むことがあります。●当ファンドの運用により生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。ファンドは投資元本が保証されているものではありません。●当ファンドの投資リスクについては投資信託説明書（交付目録見書）の「投資リスク」をご覧ください。

設定・運用は



BNY Mellon・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第406号

[加入協会] 一般社団法人 投資信託協会／一般社団法人 日本投資顧問業協会／一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

脱炭素への貢献と高い成長性

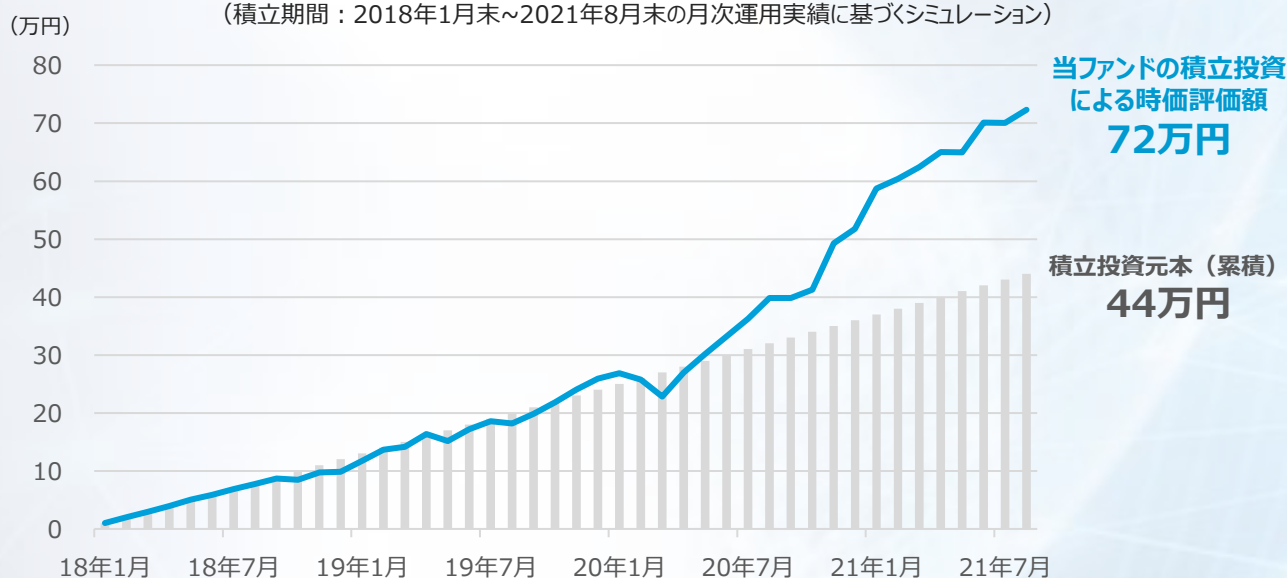
<モビリティ・イノベーション・ファンド>

(ご参考) 当ファンドにおける積立投資のシミュレーション

EVや自動運転など、人の移動の在り方を変革させるモビリティ・イノベーションは、中長期的に成長するテーマであると考えられます。こうした中、コツコツと定期的に投資を続ける「積立投資」も当ファンドへの効果的な投資手法として考えられます。

当ファンドを設定来から毎月1万円の積立投資をした場合

(積立期間：2018年1月末～2021年8月末の月次運用実績に基づくシミュレーション)



毎月積立額毎のシミュレーション (単位：万円)

	毎月積立額 1万円	毎月積立額 5万円	毎月積立額 10万円	毎月積立額 50万円
積立投資元本	44	220	440	2,200
時価評価額	72	361	723	3,615
評価損益	+28	+141	+283	+1,415

※当ファンド設定日以降の各月末において、各積立額を当ファンドに投資した場合のシミュレーションです。
 ※当ファンドのパフォーマンスは信託報酬控除後です。
 ※購入時手数料や税金は考慮していません。
 ※上記は過去の実績に基づくシミュレーションであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
 ※積立投資が必ず利益が上がることを保証するものではありません。

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてBNY Mellon・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●当ファンドは、主に株式等値動きのある証券（外貨建証券は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に、投資する外国の株式の価格変動は、為替の変動を含めて大きくなる場合がありますので、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、運用実績は市場環境等により変動し、元金を割り込むことがあります。●当ファンドの運用により生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。ファンドは投資元本が保証されているものではありません。●当ファンドの投資リスクについては投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

<ファンドの特徴>

- ・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として、日本を含む世界の金融商品取引所等に上場している自動車関連企業の株式に投資する。
- ・マザーファンドの実質的な運用は、ニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシー*に運用の指図に関する権限を委託する。

*ニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシー（以下、同社といいます。）は、同じBNYメロン・グループ傘下の運用会社である「メロン・インベストメンツ・コーポレーション」から株式およびマルチアセット運用に関する事業を承継し、2021年9月1日からマザーファンドの運用を開始した運用会社です。当該変更により、マザーファンドの運用哲学、運用プロセスには変更はございません。同社は、BNYメロン・グループ傘下の運用会社グループである「ニュートン・インベストメント・マネジメント」の北米拠点で、米国マサチューセッツ州ボストンに本社を置きます。

<投資リスク>

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として内外の株式への投資を行いますので、組入れた有価証券等の値動き(外貨建資産には為替変動もあります。)により、当ファンドの基準価額は大きく変動することがあります。**当ファンドは、元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により解約・償還金額が投資元本を下回り、損失を被る可能性があります。運用により信託財産に生じた利益または損失は、すべて受益者に帰属します。当ファンドは、預貯金とは異なります。**預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」、「株式の発行企業の信用リスク」、「為替変動リスク」、「流動性リスク」、「特定業種・テーマの集中投資に関する留意点」などがあります。※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

<お申込みメモ>

商品分類	追加型投信／内外／株式
ご購入単位	<分配金受取りコース> (新規購入時) 10万口以上1万口単位 (追加購入時) 1万口単位 <分配金再投資コース> (新規購入時) 10万円以上1円単位 (追加購入時) 1万円以上1円単位 ※別に定める場合はこの限りではありません。
ご購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※ファンドの基準価額は1万口当たりで表示しています。
ご購入不可日	販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、購入のお申込みの受付は行いません。詳しくは、SMBC日興証券にお問い合わせください。 ・ニューヨーク証券取引所の休場日 ・ニューヨークの銀行の休業日
信託期間	2028年1月21日まで(2018年1月22日設定) ※委託会社は、信託期間の延長が受益者に有利であると認めたときは、信託期間を延長することができます。
決算日	毎年1月21日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎決算時に、収益分配方針に基づき分配を行います。分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ※分配金再投資コースの場合、原則として、収益分配金は税金を差し引いた後、無手数料で自動的に再投資されます。再投資を停止し、分配金のお受取りをご希望される場合はお申し出ください。分配金のお受取りをご希望される場合、SMBC日興証券の定める所定の日よりお支払いいたします。
ご換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
ご換金不可日	販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、換金申込の受付は行いません。詳しくは、SMBC日興証券にお問い合わせください。 ・ニューヨーク証券取引所の休場日 ・ニューヨークの銀行の休業日
ご換金代金のお支払い	原則として換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

<ファンドの費用>

投資家が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に、購入口数、購入時手数料率を乗じて得た額です。 購入時手数料率はお申込代金／金額に応じて下記のように変わります。 分配金受取りコース:お申込代金に应じます。(お申込代金は購入価額に購入口数を乗じて得た額です。) 分配金再投資コース:お申込金額に应じます。(お申込金額はお申込代金に購入時手数料(税込)を加えて得た額です。) 1億円未満……………3.30%(税抜3.00%) 1億円以上5億円未満……………1.65%(税抜1.50%) 5億円以上10億円未満……………0.825%(税抜0.75%) 10億円以上……………0.55%(税抜0.50%) ※別に定める場合はこの限りではありません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

投資家が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	運用管理費用の総額＝信託財産の日々の純資産総額× 年率1.7985%(税抜1.635%) 運用管理費用は、毎計算期間の最初の6ヵ月の終了日および毎計算期末または信託終了のとき、信託財産中から支払われますが、日々費用として計上されており、日々の基準価額は運用管理費用控除後となります。
その他費用・ 手数料	マザーファンドの投資顧問会社への投資顧問報酬 委託会社のお受取る報酬には、マザーファンドにおいて運用の指図権限の一部を委託している投資顧問会社への投資顧問報酬が含まれます。 投資顧問報酬額＝信託財産に属する当該マザーファンドの受益証券の日々の時価総額×年率0.34% 監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用、目論見書等の作成、印刷および交付費用ならびに公告費用等、その他の管理、運営にかかる費用、組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管費用等が、信託財産より支払われます。 ◆その他費用・手数料については、資産規模および運用状況等により変動しますので、料率、上限額等を表示することができません。

※上記費用の総額につきましては、投資家の皆様の保有される期間等により異なりますので、表示することができません。
※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
※お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてBNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他のいかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●当ファンドは、主に株式等値動きのある証券（外貨建証券は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に、投資する外国の株式の価格変動は、為替の変動を含めて大きくなることがありますので、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、運用実績は市場環境等により変動し、元金を割り込むことがあります。●当ファンドの運用により生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。ファンドは投資元本が保証されているものではありません。 ●当ファンドの投資リスクについては投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。